



－ v6.1.0 変更点について －

NTTアドバンステクノロジー株式会社

はじめに

■ v6.1.0で変更になったことについて解説いたします。

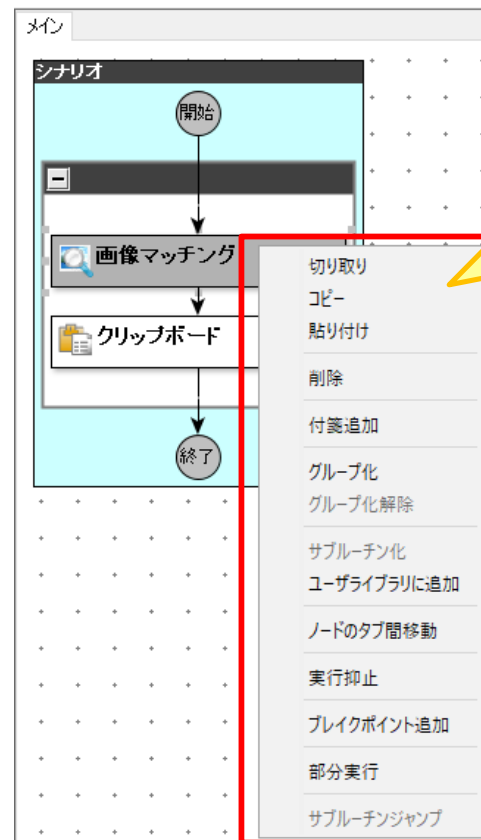
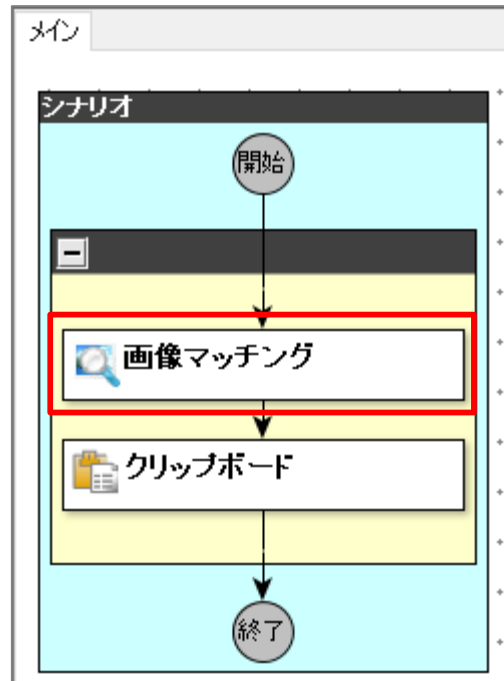
- ・機能改善・・・シナリオ作成やシナリオ保守に関する操作性・機能を追加/改善しています。
- ・不具合対応・・・不具合の修正を行っています。
- ・ユーザライブラリ・・・ユーザライブラリの追加・変更を行っています。
- ・その他

機能改善

機能改善: ノード右クリック時の動作

ノード未選択の状態でも右クリックした際に、メニューを表示するように改善しました。

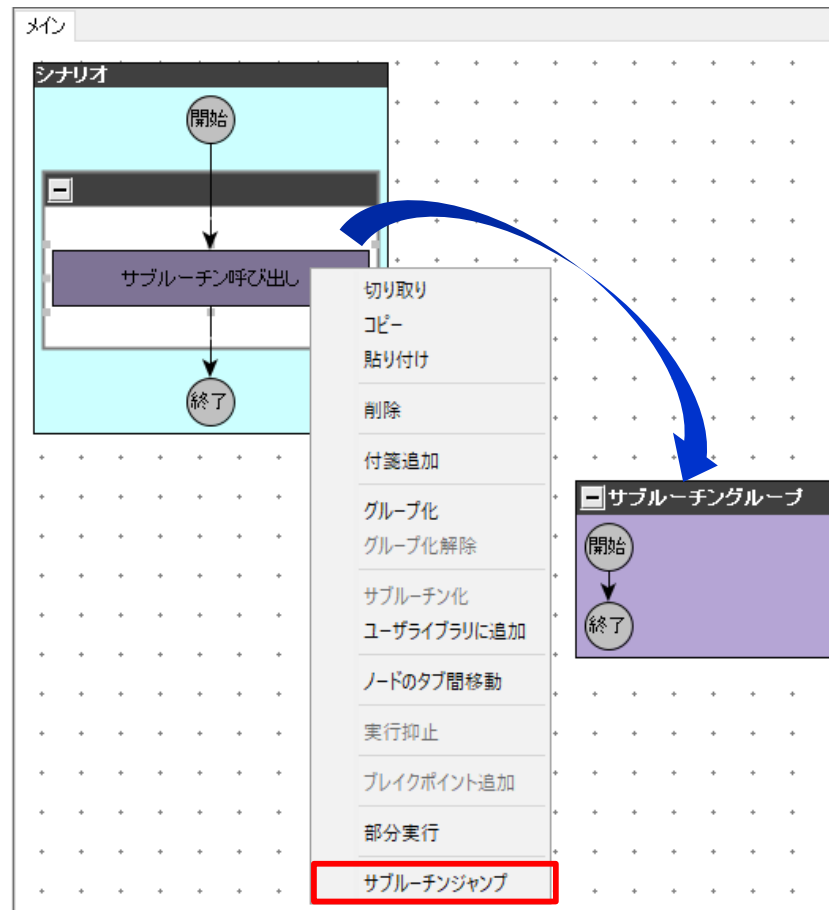
※改善前は一度ノードを選択してから右クリックする必要がありました。



ノードを選択しなくても右クリックでメニューが表示可能となった

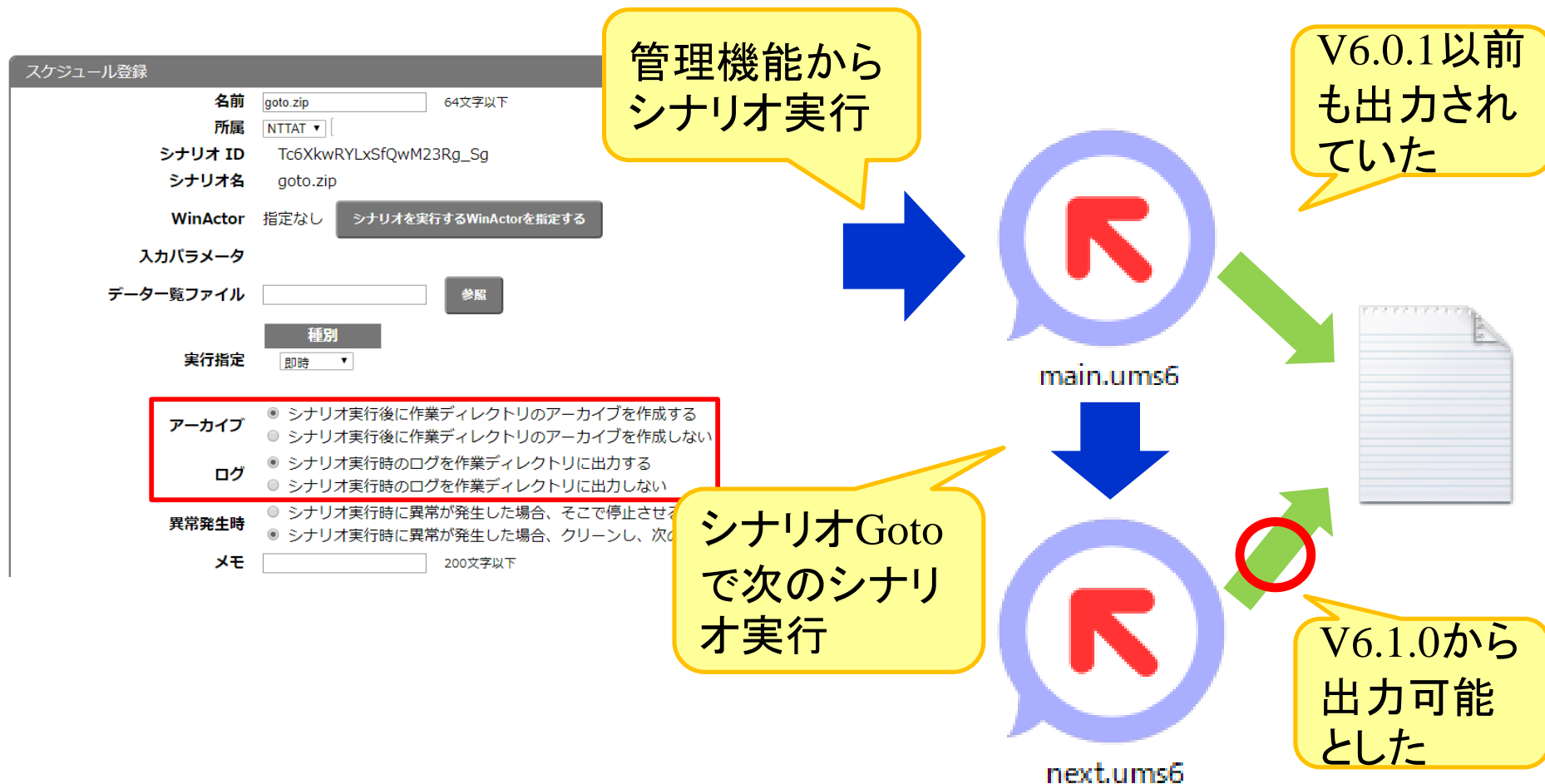
機能改善: サブルーチン呼び出し先ジャンプ

右クリックメニューから、呼び出し先のサブルーチンにジャンプ(選択状態となる)することが可能になりました。



機能改善: 管理機能連携時のシナリオGoto先のログ出力

管理機能連携時、シナリオGotoを使用したシナリオを実行した際に、Goto先の実行ログが出力されるように改善しました。



機能改善: 画像マッチングのプロパティ編集

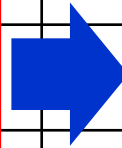
画像マッチングノードで指定したキャプチャ画像削除後も、プロパティの編集が可能となりました。



機能改善:Javaアプリケーション操作

AWTで実装したJavaアプリケーションの操作範囲を拡大しました。

No	ライブラリ名	AWTで実装したJavaアプリケーションの操作可否	
		v6.0.1以前	V6.1.0
1	チェック状態取得	×	○
2	有効無効状態取得	×	○
3	値の取得	×	△ ①Jpath:textからは取得可能 ②Jpath:labelからは取得不可
4	リスト選択取得	×	△ ①Jpath:listに対してindex指定での取得可能。text指定は取得不可 ②Jpath:combo boxからは取得不可
5	リスト選択	×	△ ①Jpath:listに対してindex指定での選択可能。text指定は選択不可 ②Jpath:combo boxは選択不可
6	マルチリスト選択解除	×	△ index指定は解除可能 text指定は解除不可
7	マルチリスト全選択解除	×	○
8	マルチリスト選択	×	△ index指定は選択可能 text指定は選択不可
9	タブ選択	×	— AWTにタブは存在しない
10	クリック	×	○
11	値の設定	×	×
12	表の値取得	×	— AWTに表は存在しない
13	リスト一括取得	×	×
14	チェックボックス・オン	×	○
15	チェックボックス・オフ	×	○



機能改善:JSON読み取りライブラリの追加

JSONデータ読み取り用のライブラリとして、「JSON 変数読み取り」を追加しました。本ライブラリでは、従来動作の「**値参照**」目的の読み取りに加え、「**転記**」目的の読み取り、「**型判定**」目的の読み取りが選択できるようになります。

※JSONライブラリの機能詳細は、WinActorのインストーラに同梱されている「WinActor_JSON機能補足.pdf」参照



読み取り目的を
選択可能とした

転記
値参照
型判定

プロパティ - スクリプト実行

名前	JSON変数 読み取り
コメント	

設定 スクリプト 注釈

JSONからキーと目的を指定して値を読み取ります。

「JSON変数」：JSON文字列が格納されている変数名を設定します。
「キー」：読み取り対象のキー名を設定します。
「読み取り目的」：読み取る目的を指定します。
「値」：読み取った値を格納する変数名を設定します。

JSON変数 変数名を選択 ▼

キー 値⇒ ▼

読み取り目的 **転記** ▼

値 変数名を選択 ▼

OK キャンセル

【参考1】機能改善:JSON読み取りライブラリの追加

表. key の読み取り結果(値参照目的選択時)

No	JSON(※1)	型(※2)	読み取り結果(※3)
1	{ key : 123 }	整数値	123
2	{ key : 12.3 }	小数値	12.3
3	{ key : "123" }	文字列	"123"
4	{ key : "null" }	文字列	"null"
5	{ key : "" }	文字列	""
6	{ key : { sub : 123 } }	オブジェクト	{ sub : 123 }
7	{ key : [1, 2, 3] }	配列	[1, 2, 3]
8	{ key : true }	真偽値	true
9	{ key : null }	Null値	null

※1 読み取り対象のJSONです。
※2 JSONを読み取るときにWinActorが内部で自動判別する型です。判別結果は変数に保持されません。
※3 読み取り結果として指定した変数に格納される値です。

注意:
No3,No4 文字列は "" 付きで読み取られます。
No9 null値は null として読み取られます。

「値参照」目的の読み取りでは、
「JSON形式読み取り」の結果と同じになります。

【参考2】機能改善:JSON読み取りライブラリの追加

表. key の読み取り結果(転記目的選択時)

No	JSON(※1)	型(※2)	読み取り結果(※3)
1	{ key : 123 }	整数値	123
2	{ key : 12.3 }	小数値	12.3
3	{ key : "123" }	文字列	123
4	{ key : "null" }	文字列	null
5	{ key : "" }	文字列	
6	{ key : { sub : 123 } }	オブジェクト	{ sub : 123 }
7	{ key : [1, 2, 3] }	配列	[1, 2, 3]
8	{ key : true }	真偽値	true
9	{ key : null }	Null値	

※1 読み取り対象のJSONです。
※2 JSONを読み取るときにWinActorが内部で自動判別する型です。判別結果は変数に保持されません。
※3 読み取り結果として指定した変数に格納される値です。

注意:
No3,No4,No5 文字列は "" を取り除いて読み取られます。
No9 null値は 空文字として読み取られます。

「転記」目的の読み取りでは、
そのまま転記できるように加工した情報を読み取ります。

【参考3】機能改善:JSON読み取りライブラリの追加

表. key の読み取り結果(型判定目的選択時)

No	JSON(※1)	型(※2)	読み取り結果(※3)
1	{ key : 123 }	整数値	INTEGER
2	{ key : 12.3 }	小数値	FLOAT
3	{ key : "123" }	文字列	STRING
4	{ key : "null" }	文字列	STRING
5	{ key : "" }	文字列	STRING
6	{ key : { sub : 123 } }	オブジェクト	OBJECT
7	{ key : [1, 2, 3] }	配列	ARRAY
8	{ key : true }	真偽値	BOOLEAN
9	{ key : null }	Null値	NULL

※1 読み取り対象のJSONです。

※2 JSONを読み取るときにWinActorが内部で自動判別する型です。

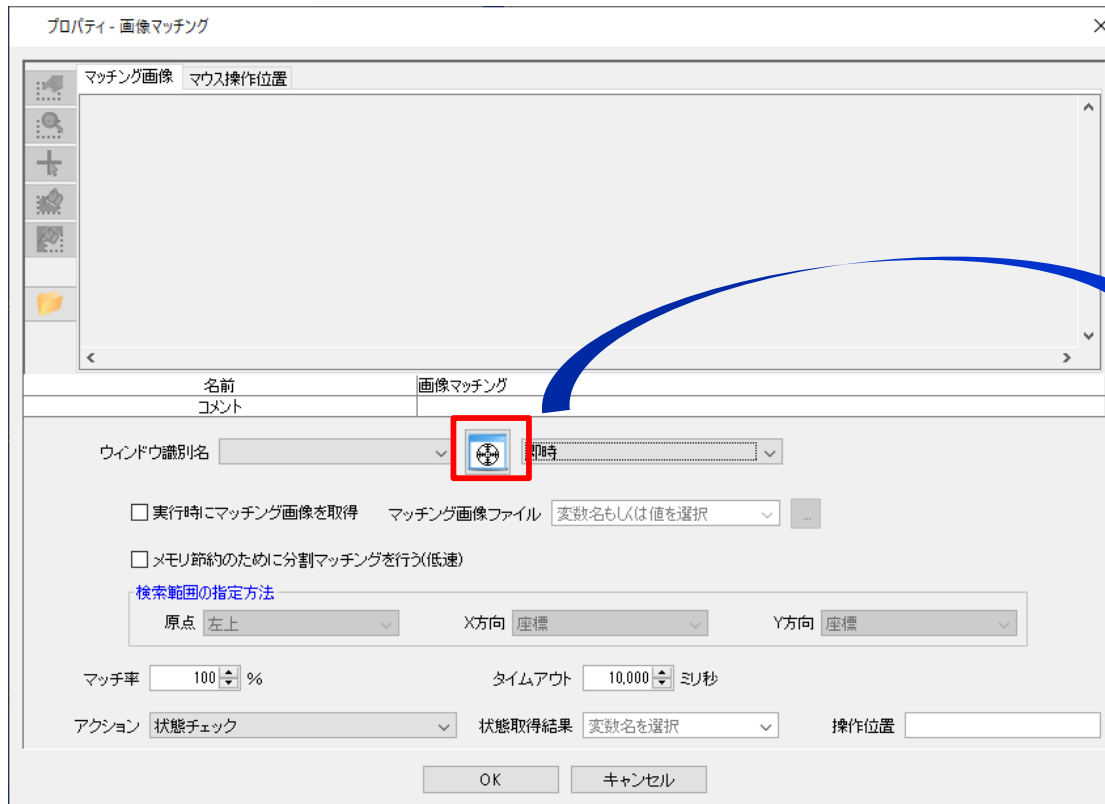
※3 読み取り結果として指定した変数に格納される値です。

「型判定」目的の読み取りでは、
型の自動判定結果を読み取ります。

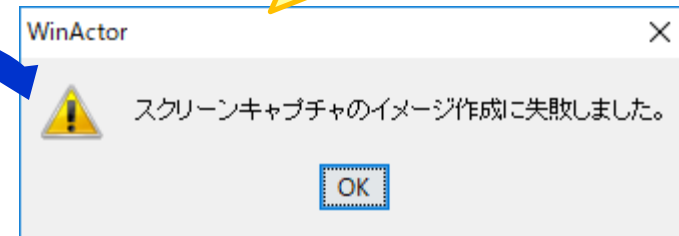
不具合対応

不具合対応：画像マッチングのウィンドウ選択時の警告

画像マッチング/輪郭マッチングノードのウィンドウ選択時に、
選択タイミングにより警告が表示される不具合を修正しました。



警告が表示されないように修正



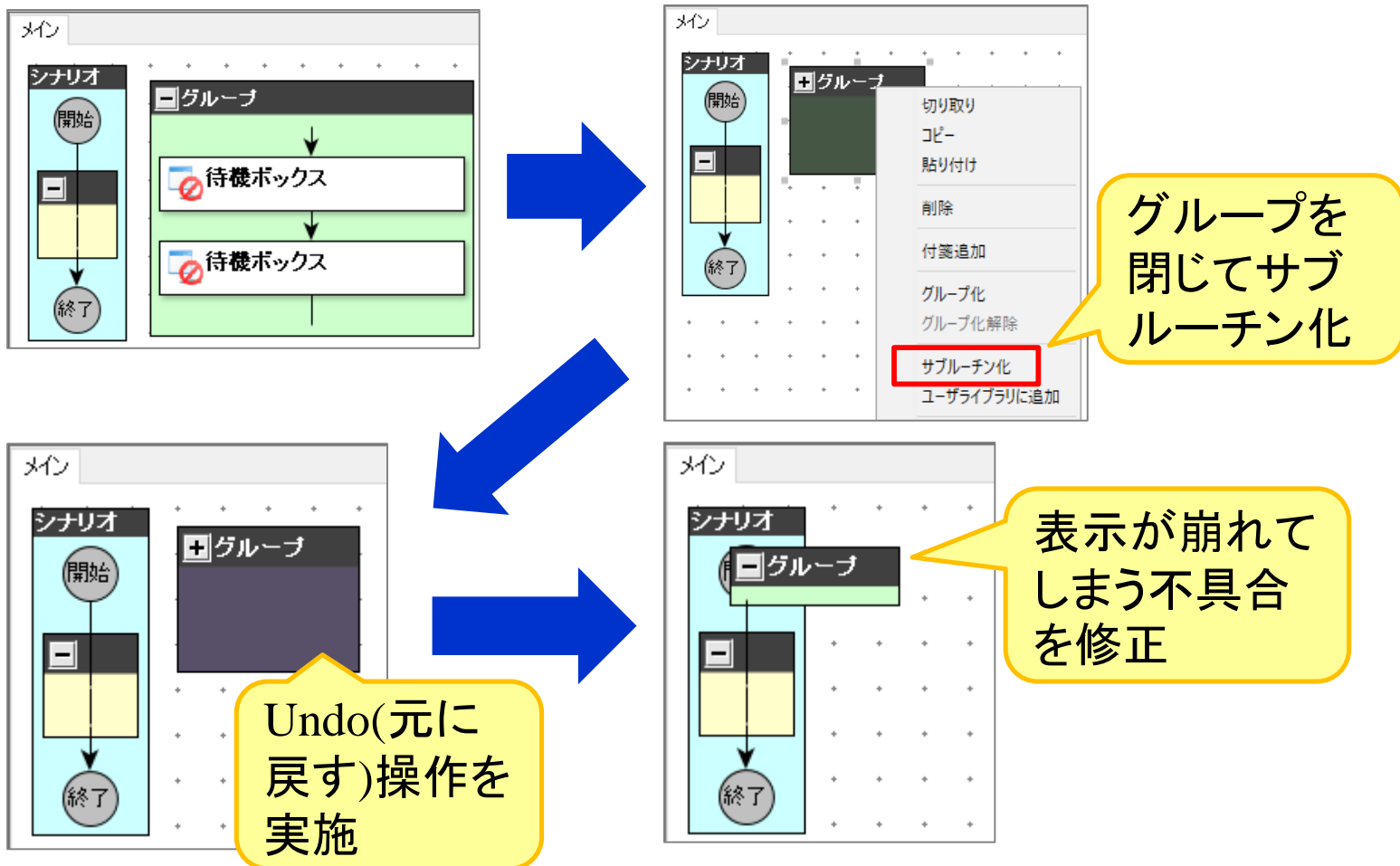
不具合対応：画像マッチング実行時のエラー

画像マッチング(分割マッチング時)/輪郭マッチングノード実行時に、実行タイミングによりエラーが発生する不具合を修正しました。

※v5.3.1以前のWinActorで作成した画像マッチングノードの実行でエラーは発生しません。

不具合対応：サブルーチンのUndo動作

グループを閉じた状態でサブルーチン化した場合にUndo動作を行うと表示が崩れてしまう不具合を修正しました。



不具合対応:メール受信設定の取得条件設定

メール受信設定ノードの取得条件設定として、変数を設定した場合に変数値で動作しない(値として動作する)不具合を修正しました。

メール受信設定

変数値として動作しない不具合を修正

プロパティ-メール受信設定

項目	値	条件
SUBJECT	filter1	を含む
SUBJECT	filter2	一致する

不具合対応:JSON書き込みノードのプロパティ編集

JSON書き込みノードの詳細設定タブにて、複数キーが存在している状態で2行目以降のキー、型、値を変更しても変更が反映されない不具合を修正しました。

JSON形式書き込み

プロパティ - JSON形式書き込み

名前: JSON形式書き込み
コメント:

基本設定 詳細設定

キー	型	値
key1	文字列	値⇒ value1
key2	整数値	値⇒ 12345
key3	文字列	値⇒ value2

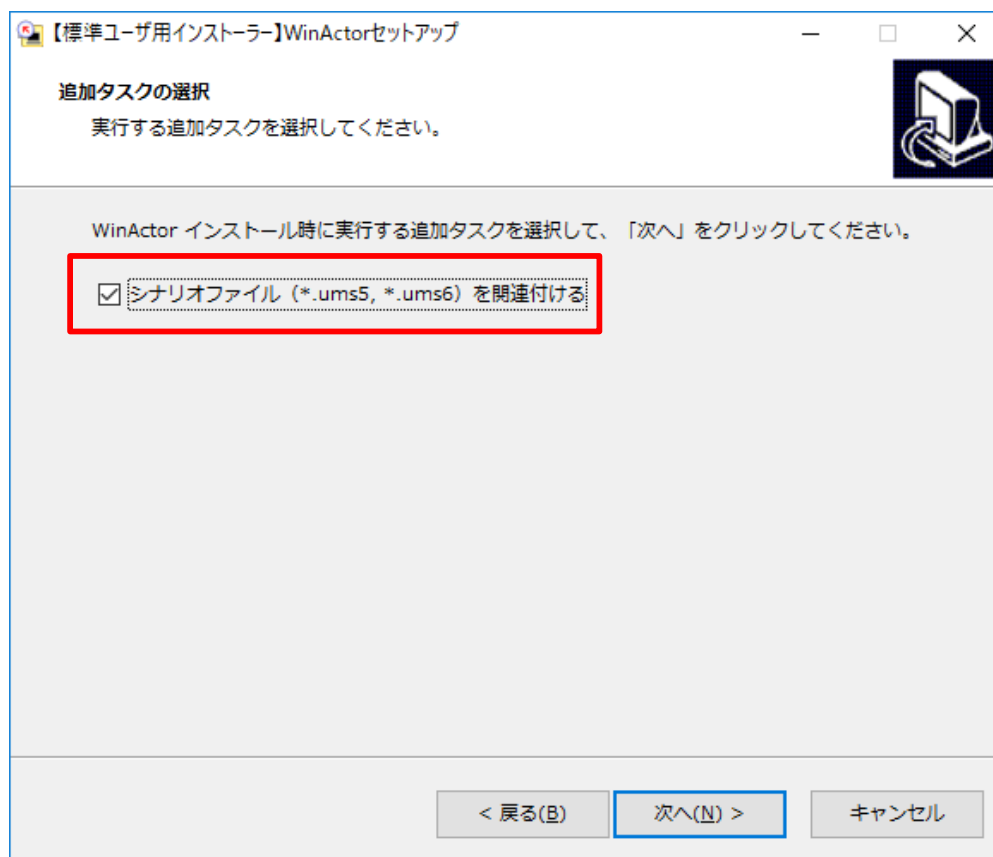
2行目以降の
情報を変更しても
変更が反映されな
い不具合を修正

ユーザライブラリ

各ライブラリの詳細な機能改善点、不具合修正点は、
別紙『WinActor v6.1.0 ライブラリの変更点 (xlsxファイル)』を
ご確認ください。

その他：標準ユーザ用インストーラーの改善

標準ユーザ用インストーラーでシナリオファイルの関連付け(ums5、ums6)の有無を選択可能としました。



その他:リリースファイル

No	ライセンス種別	ファイル種類	ファイル名	インストールについて、 注意事項
1	ノードロック版	管理者ユーザー用 インストーラー (兼アップデートツール)	WinActor_v610_i_expire_Y YYYYMMDD_XXdays.zip	ノードロック版は原則としてこのファイル をご利用ください。管理ユーザとは Windows OS の管理者権限が付与され たユーザとなります。
2		標準ユーザー用 インストーラー (兼アップデートツール)	WinActor_v610_inp_expire_ YYYYMMDD_XXdays.zip	インストールする端末に管理者実行権 限がない場合など、No1でインストール できない場合にご利用ください。
3	フローティング ライセンス版	管理者ユーザー用 インストーラー (兼アップデートツール)	WinActor_v610_FL_i.zip	フローティングライセンス版は原則として このファイルをご利用ください。
4		標準ユーザー用 インストーラー (兼アップデートツール)	WinActor_v610_FL_inp.zip	インストールする端末に管理者実行権 限がない場合など、No3でインストール できない場合にご利用ください。

★アップデートの際の注意点★

管理ユーザ用インストーラーでインストールした場合は、管理ユーザ用インストーラーでアップデートをしてください。

同様に標準ユーザ用インストーラーもしくはZIP解凍版でインストールした場合は、標準ユーザ用インストーラーでアップデートをしてください。

管理ユーザ用インストーラーでインストールした状態で標準ユーザ用インストーラーでアップデートしたり、標準ユーザ用インストーラーでインストールした状態で管理ユーザ用インストーラーでアップデートしたりしないでください。

WinActor v6.1.0 変更点について

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2013-2019 NTT Corp. & NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-F-0625